



TITLE:

<BOOK REVIEWS> 西上原裕明著「Wordで作る長文ドキュメント: 論文・仕様書・マニュアル作成をもっと効率的に」技術評論社, 2011年, 263p.

AUTHOR(S):

宮田, 怜

CITATION:

宮田, 怜. <BOOK REVIEWS> 西上原裕明著「Wordで作る長文ドキュメント: 論文・仕様書・マニュアル作成をもっと効率的に」技術評論社, 2011年, 263p.. 医学図書館 2017, 64(3): 180-180

ISSUE DATE:

2017-09

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/229129>

RIGHT:

© 2017 日本医学図書館協会; 許諾条件により本文は2017-12-21に公開.; 許諾条件により非表示の部分があります.

BOOK REVIEWS

Wordで作る長文ドキュメント：論文・仕様書・マニュアル作成をもっと効率的に

著者名：西上原裕明

出版者：技術評論社

出版年：2011年

頁 数：263p.

価 格：2,380円＋税

ISBN：978-4-7741-4835-9



申請書類や企画書・報告書，業務用マニュアルまで，図書館でMicrosoft Wordにより文書を作成する機会が多い。文書作成では内容だけでなくその書式やデザインも重要である。皆さんも「よく読めば内容はちゃんとしているけれどなんだか書きにくい（読みにくい）」という文書を目にされたことがあるだろう。自分で作成した文書に対して，利用者や上司・同僚からこうした指摘があれば，内容はそのまま，より分かりやすいデザインへ修正することが必要だが，Word特有の使い勝手に振り回され思い通りに修正できず不本意ながら妥協してしまったという経験はないだろうか。

本書はスタイルをはじめとしたデザイン・構成に関わるWordのやや高度な機能の「解説書」である。一般的な「ハウツー本」とはやや異なり，機能や設計思想を1から順に丁寧に解説している点が特徴である。順を追った丁寧な解説であるだけに最低でも節・章レベルでじっくりと読み通すことが求められるので，「細かいことはいいからこれだけ知りたい」という用途には残念ながら不向きである。しかし，各機能の狙いや想定をきめ細かく解説している点は得難い長所である。一般的な「ハウツー本」の場合，何のために必要な操作なのかの説明があまりなく，理解が不十分になるため，別の機会に応用が効かないケースがしばしばある。本書はWordの機能に対して深い理解を促し，幅広く応用が効くという点でも非常に有用である。

書式やデザインはどうしても内容よりも優先順位が低くなりがちで，あまり時間を割けないかもしれない。しかし，図書館作成文書の書きやすさ，読みやすさはサービスに直接影響する要素であり決して軽視してよいものではない。使いやすい図書館を目指して，小さな一歩がまず自館作成の文書を見直すところから始めたい。

(京都大学医学図書館 宮田 怜)